

# 本妙寺展

「加藤清正と本妙寺」



白檀塗蛇の目紋蒔絵仏胴具足附蛇の目紋長烏帽子形兜

平成28年

11月7日(月) - 12月10日(土)

開館時間 / 9:30 - 16:30 休館日 / 日曜・祝日

観覧料 / 無料

 肥後の里山ギャラリー

〒860-0017 熊本市中央区練兵町1番地

肥後銀行本店1階 TEL096-326-7800

<http://www.mizutomidori.jp>

主催 / 株式会社肥後銀行 公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金

# 本妙寺展 「加藤清正と本妙寺」

平成28年11月7日(月) - 12月10日(土)

熊本城を築き、肥後国の基盤を作り上げた加藤清正是、今なお「清正公(せいしよこ)さん」と慕われ、その絶大な人気は衰えることを知りません。平成22年に鶴屋百貨店で「清正公400年遠忌記念 加藤清正と本妙寺の至宝展」が、平成24年には熊本県立美術館で「生誕450年記念 加藤清正」が開催され、大きな話題となりました。

本妙寺に伝えられる文化遺産の核となる加藤家ゆかりの文物は、古文書と工芸品が多く見られます。「後陽成天皇口宣案」や「豊臣秀吉禁制」などの清正宛古文書、あるいは「加藤清正書状 ゆめのこと」などはまさに清正ゆかりの文化財そのものです。工芸品では、清正所用の「白檀塗蛇の目紋蒔絵仏胴具足」「短刀 銘祐定」、忠広所用の「金白檀小札紫糸緘胴丸具足」ほかの加藤家ゆかりの美術工芸品が多数所蔵されています。また茶の湯関係の陶磁器などは、時代的にも清正や忠広の時代と合致するものが多く、当時蒐集されたものとみられます。清正と同時代の絵画では、衣冠束帯姿の「加藤清正像」(レプリカ展示)、本妙寺開山の「日真人像」などがあり、清正が過ごした時代の様子を今に伝えています。

本展は、これら本妙寺に伝えられる清正ゆかりの文物を紹介することによって、清正と本妙寺の関係から浮かび上がる郷土熊本の歴史とその文化の香りに触れる機会とするものです。

## 【頓写会】

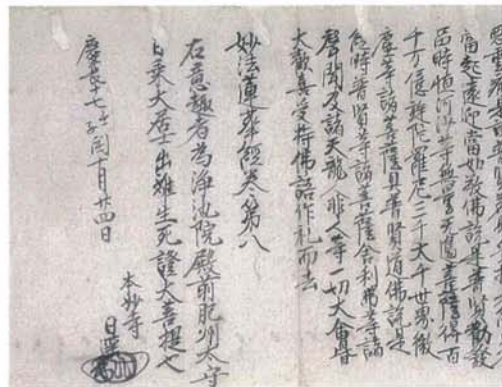
加藤清正御祥当速夜に奉行される報恩大法要で、多数の参詣者で終夜にぎわいを見せます。

本妙寺第三世日遥が、清正の一周忌に法華経を書写したのが始まりで、日遥は自らを僧侶に育てた清正公への報恩の意を込めて、数か月を費やし法華経一部八卷六万九千三百八十四文字を書写しました。三回忌には山内の僧侶が加わり書写したところ、祥当速夜の七月二十三日の一夜にして写経が出来たと言います。

古来より、速やかに経典を書写することを「頓写」と言い、その経典を「頓写経」と称することから清正公祥当忌に法華経を頓写する法会という意味で「頓写会」と呼ばれるようになりました。現在では、熊本の夏の風物詩として、市民に親しまれています。



加藤清正銅像



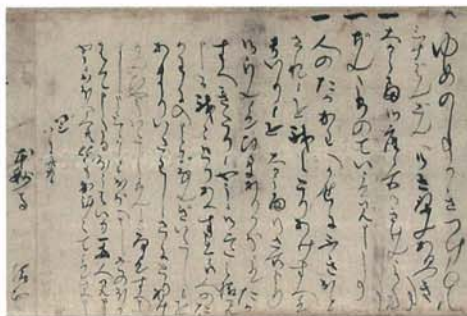
妙法蓮華経 日遥筆



短刀 銘 備州長船祐定作



浄池廟



加藤清正自筆書状 ゆめのこと

## ■本妙寺住職 池上正示上人によるギャラリートーク

11月12日(土)、11月26日(土) 13時30分～

※当日会場にお越しください

